

【地図】

地 図

1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称		教科書名
2	東 書	新しい社会 地図
46	帝 国	中学校社会科地図

2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点	方法
(ア)	基礎・基本の定着	① 地図の活用をうながす工夫	地図の見方の記載とその内容
		② 我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫	国土の地理的環境や歴史的事象が記載された地図の例
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	③ 思考力・判断力・表現力等を育むような工夫	思考力・判断力・表現力等を高めるための記載内容
		④ 課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	課題を追究するための資料の構成
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑤ 題材や資料等の配列	内容の構成と配列及びページ数
(エ)	内容の表現・表記	⑥ 学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い	地図の種類と縮尺及び資料等の活用方法の示し方
(オ)	言語活動の充実	⑦ 観察・調査や各種資料の活用の工夫	地図を活用した調べ方の事例
		⑧ 目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	地図を活用した表現の記載の仕方と具体例

【地図】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	① 地図の活用をうながす工夫
方法	地図の見方の記載とその内容

地図の見方の記載とその内容	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭ページに「この地図帳の地図記号」を記載している。 ○ 巻頭ページに「この地図帳の活用方法」を設け、一般図やテーマ地図、グラフ、写真などの資料の見方といったこの地図帳の使い方や三分野における活用方法を記載している。 ○ 巻末ページに「地図の比較」で地図記号を記載し、20万分の1地勢図の図式を記載している。 ○ 世界と日本の各地域の「一般図」において「注目したい記号」を記載している。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭ページに「この地図帳の凡例」を記載している。 ○ 巻頭に「地図帳の使い方」を設け、地図の要素、一般図、鳥瞰図、資料図を掲載している。 ○ 「国土地理院の地形図」では「地形図の主な記号」を記載している。 ○ 巻頭に地図記号、小学校で学習した地図の約束、地図活用について記載している。

【地図】

観点	(ア) 基礎・基本の定着
視点	②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫
方法	国土の地理的環境や歴史的事象が記載された地図の例

	国土の地理的環境の例	歴史的事象の例
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本」で近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ○ 日本全体に関しては、地形、気候、災害・環境問題、人口、資源・エネルギー、各産業、交通・通信網、世界との結び付き、生活・文化に関する資料や統計を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各時代の世界との結び付きに関する資料 <ul style="list-style-type: none"> ・日本と世界との関係（古代～近世） ○ 日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料 <ul style="list-style-type: none"> ・「原子爆弾投下時の長崎」 ・「水俣病の市町村ごとの認定患者数」 ・「歴史の舞台・九州地方」 ・「原子爆弾投下時の広島市」 ・「江戸時代（17世紀末ごろ）の大阪」 ・「京都市の主な文化財と観光地」 ・「奈良市の主な文化財と観光地」 ・「神戸市の主な文化財と観光地」 ・「国宝・重要文化財の指定件数」 ・「東京周辺の再開発」 ・「アイヌ語に由来する地名」 ・「日本の主な公害」 ○ 巻末に「旧国名 1868（明治元年）年」を記載している。 ○ 巻末の「資料さくいん」に「歴史」の項目がある。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本のページ」で近隣諸国を含む日本全体や各地方の地理的環境を記載している。 ○ 日本全体に関しては、地形、気候、自然災害・防災、人口、鉱産資源、各産業、交通・通信、観光・スポーツ、歴史遺産、生活・文化に関する資料や統計を記載している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の各地方で掲載されている歴史に関する資料 <ul style="list-style-type: none"> ・「東京都周辺の地形－水と人の関わり・防災－」 ・「江戸」 ・「東京～大阪（江戸～大坂）間の所要時間」 ・「江戸時代のおもなできごと」 ・「大阪湾周辺の地形－地形と歴史・防災－」 ・「長崎市」 ・「広島市中心部」 ・「広島市付近にある水害の碑の分布」 ・「大阪市中心部」 ・「京都市中心部」 ・「江戸時代の大阪」 ・「明日香村周辺」 ・「斑鳩」 ・「奈良市中心部」 ・「本州中央部と五街道」 ・「名古屋市中心部」 ・「東京都の中心部」 ・「東北地方の資料」 ・「日本とロシア・ソ連の国境の変遷」 ・「開拓の歴史とアイヌ語地名」 ○ 日本全体についての歴史に関する資料 <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の世界遺産」 ・「日本の生活・文化」

【地図】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	③思考力・判断力・表現力等を育むような工夫
方法	思考力・判断力・表現力等を高めるための記載内容

思考力・判断力・表現力等を高めるための記載内容	
東 書	<p>○ 巻頭に「現代社会の課題を解決するために『SDGs』を知ろう！」を設け、地図活用の視点として、17のゴールを記載している。</p> <p>○ 資料の読解力を高めるために、「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターを設定し、吹き出しを設けている。</p> <p>【具体例】</p> <p>①アフリカ州のテーマ資料② 4 アフリカの一人あたりの国内総生産 ・「国内総生産が高い国はどんな特徴があるのかな。」</p> <p>②九州地方のテーマ資料 2 九州地方の火山と温泉・地熱発電所 ・「温泉や地熱発電所が集まっている地域には、どんな共通点があるのかな。」</p> <p>③世界と日本の交通・通信網 ・「交通量や輸送量が多い所には、どんな特徴があるかな。」</p> <p>④ヨーロッパ州の基本資料 4 地中海式農業 【具体例】「ぶどうやオリーブの栽培には、どんな気候が適しているのかな。」</p> <p>○ 資料に「ジャンプ」というマークを設定し、別ページにある関連性の深い内容を示している。</p> <p>【具体例】「海外の日本企業のグラフと世界における日本企業の分布、東南アジア・南アジアの工業」</p>
帝 国	<p>○ 巻頭に地図活用のヒントとなるマークについて記載しており、防災・環境・日本との結び付きの視点を示している。</p> <p>○ 地図活用の技能を身に付けるためのコーナー「地図活用」を各所に設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを示している。</p> <p>【具体例】</p> <p>①オセアニア州の資料 7 移民の出身地 「オーストラリアへの移民の出身地は、どのように変化しているのか、キ・ク図を確認して答えよう。」</p> <p>②アフリカ州の資料(2) 8 貧困率と栄養不足の人口(7 鉱工業) 「1日1.90ドル以下で生活する人の割合が高い国は、どのような国だろう。⑦図の鉱産資源に注目して考えてみよう。」</p> <p>③九州地方の資料 3 人口分布(1 自然, 5 工業・交通) 「九州地方で人口が集中しているところはどのようなところか、①・⑤図を確認して答えよう。」</p> <p>④世界と日本の交通・通信 「アジア, ヨーロッパ, 北アメリカのうち、どの地域が日本の多くの空港と結びついているか答えよう。」</p> <p>○ 資料に「プラチナ」というマークを設定し、別ページにある関連性の深い内容を示している。</p> <p>【具体例】「おもな国の電力源とヨーロッパ州のおもな発電量の内訳—2016—」</p>

【地図】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	④課題の設定, 整理・分析, 振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	課題を追究するための資料の構成

課題を追究するための資料の構成	
東 書	<p>○ 世界では州ごと, 日本では地方ごとに, 一般図の次に基本資料とテーマ資料を掲載している。</p> <p>中国・四国地方</p> <p>中国・四国地方の一般図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国地方 ・ 四国地方 ・ 広島市・岡山市周辺 <p>中国・四国地方の基本資料</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中国・四国地方の自然環境 ②中国・四国地方の土地利用 ③中国・四国地方の降水量 <p>中国・四国地方のテーマ資料</p> <ol style="list-style-type: none"> ①中国・四国地方の老年人口の割合 ②原子爆弾投下時の広島市 ③高速道路や橋の変化
帝 国	<p>○ 世界では州ごと, 日本では地方ごとに, 一般図の次に資料を掲載している。</p> <p>中国・四国地方</p> <p>中国・四国地方の一般図</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中国地方 ・ 広島市中心部 ・ 竹島 ・ 四国地方 ・ 瀬戸内海周辺 <p>中国・四国地方の資料</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自然 ②降水量 ③人口分布 ④農業 ⑤工業・交通 ⑥中国・四国地方の交通と人口密度の変化 ⑦鳥取砂丘 ⑧水島コンビナート ⑨広島市付近にある水害の碑の分布 ⑩八幡浜市のみかん栽培 ⑪高知平野の野菜栽培

【地図】

観点	(ウ) 内容の構成・配列・分量
視点	⑤題材や資料等の配列
方法	内容の構成と配列及びページ数

	構成	配列	ページ数
東 書	○ A B判 (タテがB 5判, ヨコがA 4判サイズ) ○ 「世界」「日本」「統計」「さくいん」に分類し, インデックスを大きく四つに分類している。また, 「世界」を「世界全体」, 「州」, 「日本」を「日本全体」, 「地方」で分類し, 色分けしている。	①世界の資料図 現代的な諸課題①環境・資源エネルギー問題, 現代的な諸課題②人口・貧困問題, 現代的な諸課題③紛争・難民問題, 世界の地形, 世界の気候, 世界の生活・文化①, 世界の生活・文化②, 世界の農林水産業, 世界の資源・エネルギー, 世界の工業と貿易	20
		②世界の諸地域	56
		③日本の諸地域	62
		④日本の資料図 日本の自然環境(地形, 気候, 災害・環境問題), 日本の人口, 日本の資源・エネルギー, 日本の農林水産業, 日本の工業・世界と日本の交通・通信網, 世界と日本との結び付き, 日本の生活・文化	19
		⑤統計	10
		⑥さくいん, 資料さくいん	11
		⑦巻頭・巻末 ・巻頭 目次, 世界全図, この地図帳の地図記号, この地図帳の活用方法, 現代社会の課題を解決するために「SDGs」を知ろう! ・巻末 著作関係者, 都道府県の産品と名所・お国自慢など, 地図の比較, 日本の周辺, 都道府県の区分, 旧国名	14
		総ページ数	192
帝 国	○ A 4判 ○ 「使い方・資料」「世界」「日本」「統計」「さくいん」で分類し, インデックスを大きく五つに分類し色分けしている。	①使い方・資料 ・使い方 この地図帳の凡例, 地図帳の使い方(1), 地図帳の使い方(2), 国土地理院の地形図 ・世界の資料 世界の地形, 世界の気候, 世界の環境問題, 世界の生活・文化(1), 世界の生活・文化(2)	15
		②世界の諸地域	58
		③日本の諸地域	68
		④日本の資料 日本の地形, 日本の気候, 日本の自然災害・防災, 世界と日本の人口, 世界と日本の鉱産資源, 日本の工業, 日本の農業・水産業, 世界と日本の交通・通信, 観光・スポーツ, 日本の歴史遺産, 日本の生活・文化	20
		⑤統計 自然の統計, 世界の統計(1), 世界の統計(2), 日本の統計(1), 日本の統計(2)	9
		⑥さくいん	12
		⑦巻頭・巻末 ・巻頭 もくじ, 世界の国々 ・巻末 都道府県と昔の国名, 日本の領土とそのまわりの国々	6
		総ページ数	188

【地図】

観点	(エ) 内容の表現・表記
視点	⑥学習内容との適切な関連付けがなされた地図や資料等の取扱い
方法	地図の種類と縮尺及び資料等の活用方法の示し方

	地図の種類と縮尺	資料等の活用方法の示し方	
東 書	世界全図	○ 赤道上の距離を示している。	○ 関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けている。
	広域地図 大陸地図	○ 4500 万分の 1～9000 万分の 1 ・ユーラシア・オーストラリア・北極圏（4500 万分の 1） ・ヨーロッパ・アフリカ・大西洋（4500 万分の 1） ・南北アメリカ（4500 万分の 1） ・南極（9000 万分の 1） ・環太平洋・環インド洋（6000 万分の 1）	
	各州地図	○ 1600 万分の 1～3000 万分の 1 ・東アジア（1600 万分の 1） ・東南アジア・南アジア（2500 万分の 1） ・西アジア・環地中海（2000 万分の 1） ・ヨーロッパ（1600 万分の 1） ・ロシア連邦（2200 万分の 1） ・アメリカ合衆国（1600 万分の 1） ・南アメリカ（3000 万分の 1） ・オーストラリア・ニュージーランド（2000 万分の 1）	
	その他	○ 300 万分の 1～800 万分の 1 ・朝鮮半島（500 万分の 1） ・イスラエル周辺（300 万分の 1） ・ヨーロッパ中央（800 万分の 1）	
	日本全体	○ 550 万分の 1, 1600 万分の 1 ・日本列島①（550 万分の 1） ・小笠原諸島（550 万分の 1） ・日本列島②南西諸島（550 万分の 1） ・日本の周辺（1600 万分の 1）	
	日本の各地方地図	○ 100 万分の 1, 200 万分の 1 ・九州地方, 中国・四国地方, 近畿地方, 中部地方, 新潟県, 関東地方, 東北地方, 北海道地方南部, 北海道地方北部（100 万分の 1） ・北海道地方（200 万分の 1）	
	日本のある地域の拡大図	○ 50 万分の 1, 10 万分の 1, 5 万分の 1 ・沖縄島, 福岡県とその周り, 広島市・岡山市周辺, 大阪府とその周辺, 愛知県とその周辺, 新潟市周辺, 東京都とその周り, 東京中心部（10 万分の 1） ・仙台市周辺, 札幌市周辺（50 万分の 1） ・札幌市中心部（5 万分の 1）	
	その他	○ 5 万分の 1～700 万分の 1 ・喜界島, 奄美群島, 奄美群島南部・伊平屋島, 伊是名島, 慶良間列島, 大東諸島, 宮古列島, 八重山列島, 与那国島（100 万分の 1） ・種子島, 五島列島, 対馬, 屋久島（100 万分の 1） ・隠岐諸島（100 万分の 1）, 竹島（5 万分の 1） ・伊豆諸島, 八丈島, 青ヶ島, 父島列島（100 万分の 1） ・千島列島（700 万分の 1）	

【地図】

帝 国	世界全図	○ 8800 万分の 1	○ 地図活用の技能を身に付けるための問いとして「地図活用」のマークを記載している。 ○ 資料図のページで扱ったテーマに対して、図を見るときに着目する視点を示すため「学習課題」を設定している。
	広域地図 大陸地図	○ 3500 万分の 1～9000 万分の 1 ・アジア州（4000 万分の 1） ・アフリカ州（3500 万分の 1） ・南北アメリカ（4000 万分の 1） ・南極大陸（9000 万分の 1） ・大西洋（6000 万分の 1） ・太平洋・インド洋（6000 万分の 1）	
	各州地図	○ 1600 万分の 1～3000 万分の 1 ・東アジア（1600 万分の 1） ・東南アジア（2000 万分の 1） ・南・西・中央アジア（2000 万分の 1） ・ヨーロッパ州（1600 万分の 1） ・ロシア連邦とまわりの国々（2000 万分の 1） ・アメリカ合衆国（1600 万分の 1） ・南アメリカ州（3000 万分の 1） ・オーストラリア・ニュージーランド（2000 万分の 1）	
	その他	○ 250 万分の 1～4200 万分の 1 ・ヨーロッパ中心部（4200 万分の 1） ・朝鮮半島（300 万分の 1） ・イスラエル・パレスチナ（250 万分の 1） ・ヨーロッパ中央部（800 万分の 1）	
	日本全体	○ 400 万分の 1， 1600 万分の 1 ・南西諸島（400 万分の 1） ・日本列島（400 万分の 1） ・日本の領土とそのまわりの国々（1600 万分の 1）	
	日本の各地方地図	○ 100 万分の 1， 200 万分の 1 ・九州地方，中国地方，四国地方，近畿地方，中部地方，福井県，石川県，富山県・新潟県・関東地方・東北地方，北海道地方南部・北海道地方北部（100 万分の 1） ・北海道地方（200 万分の 1）	
	日本のある地域の拡大図	○ 50 万分の 1 ・沖縄島，九州地方北部，瀬戸内海周辺，近畿地方中部，中部地方南部，関東地方南部，仙台市とそのまわり，札幌市とそのまわり	
	その他	○ 5 万分の 1～1000 万分の 1 ・奄美群島，奄美群島南部・沖縄諸島・尖閣諸島，宮古列島，八重山列島・大東諸島（100 万分の 1） ・伊豆諸島（1000 万分の 1） ・小笠原諸島（400 万分の 1） ・伊豆，小笠原諸島（100 万分の 1），対馬，五島列島，大隅諸島（100 万分の 1） ・広島市中心部，竹島（5 万分の 1） ・大阪湾周辺の地形—地形と歴史・防災—（15 万分の 1） ・大阪市中心部・京都市中心部・斑鳩・奈良市中心部（5 万分の 1） ・名古屋市とそのまわり（30 万分の 1） ・新潟市とそのまわり（50 万分の 1） ・東京都周辺の地形—水と人の関わり・防災—（15 万分の 1） ・東京都の中心部（5 万分の 1） ・札幌市中心部（5 万分の 1） ・千島列島（700 万分の 1）	

【地図】

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑦観察・調査や各種資料の活用の工夫
方法	地図を活用した調べ方の事例

地図を活用した調べ方の事例	
東 書	<p>○ 巻頭に記載されている「この地図帳の活用方法」において、ヨーロッパ州を例に挙げ、地図を活用した調べ方について記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「一般図を見てみよう」 「国旗」、「ページ番号・インデックス」、「位置図」、「タイトル」、「さくいん記号」等についての解説を記載している。 ・「テーマ地図やグラフ・写真などの資料を見てみよう」 「基本資料」、「テーマ資料」を記載し、それぞれの資料の活用方法を記載している。 【具体例：ヨーロッパ州の自然環境、降水量、EU加盟国の拡大】 ・「歴史や公民でも活用しよう」 歴史的分野と公民的分野との関連を示すマークを例に挙げ、活用例を資料図とともに記載している。 ・キャラクターの吹き出しによる解説を記載している。 【具体例：ヨーロッパでは、どんなことに注目するといいいのかな。】
帝 国	<p>○ 巻頭に記載されている「地図帳の使い方（1）」において、オセアニア州を例に挙げ、地図を活用した調べ方について記載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図帳を開けたらまず確認しよう」 一般図が示され、「タイトルと縮尺」、「凡例」、「位置図」の説明を記載している。「そのほかの構成紹介」として「さくいん記号」、「接続ページ」、「同緯度・同経度・同縮尺の日本」、「インデックス」についての解説も記載している。 ・「いろいろな地図を使いこなそう」 「一般図」、「鳥瞰図」、「資料図」の説明を記載し、オセアニア州の資料のページでどのように記載されているか示している。 オーストラリアの一部分を示す「一般図」「資料図」を用いて「地図の要素」についての解説を記載している。 ・「地図帳を使いこなそう」 「さくいん」、「統計」、「資料図ページ」の説明を記載している。 ・囲み文による解説を記載している。 ・「地図活用をやってみよう」では、オーストラリアを例に挙げ、地図を活用した調べ方を示している。 ・二次元コードの活用例を記載している。

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑧目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	地図を活用した表現の記載の仕方と具体例

地図を活用した表現の記載の仕方と具体例	
東 書	<p>○ 地図を活用した表現工夫として、「この地図帳でいっしょに『世界旅行』をする友達と先生」というキャラクターを設定し、地図の活用方法や課題を追究するための問いなどの吹き出しを51か所設け記載している。 【具体例】「日本の地形は、気候や人口分布、産業にどのような影響をあたえているのでしょうか。この後のページに続く、さまざまな地図と比較して考えてみましょう。」</p>
帝 国	<p>○ 地図を活用した表現として、「学習課題」や「地図活用」のコーナーを設定し、地図の読図や比較を通して、地図から分かることを整理したり、説明したりできるような問いを107か所設け記載している。 【具体例】「日本の地形は、どのような特徴があるだろうか。また、日本の自然環境はどのように保護されているだろうか。」</p>